

丹後地域公民館だより

電話 0772-75-2111・69-0664 FAX0772-75-2006 平成19年9月発行 第4号

《特集》 たんごふるさと探検隊

しの河し物査たとくC Hリ場いたとさ下のる数れはたり記 た。こい取野活「
かき地たをで。がなO)性所る。がれ水数亜値込、との調。とて巻川に自事
見れ区。観は水わつD、がほと川わつ処値硝がん尿水な表査。と学くと不業
らいで特察様生かて値下強ど思のかつ理が酸大だな質り一結。し習環、可たの
れなはにで々生りいが流くアわ汚りあが低性きとど調まの果。ます境そ欠ち目
な所、五きな物まる大ほヘルれれまる整く窒くきが査しとは。しるにれな
いで水+ま生調しこきどpかるてしこ備、素なに流で。つを竹生は

た。解くを残す剤に解石いをはし大四はまぜ台つ上た喜れさ白がもは野久しる希
。説だ覚つ、は流し験実使ったきか、しる所に流。んまんかいな、小下た。こ少
ささえて海、れまは験つ台。くらCた実用持の調でしのつてい。和となし
れいていな分たす自でた所板変二O。験洗ち水査いた。生た。と水見六樹参が生
ま。おくど解合が然し興用倉化十D結を削掃をのま。物。て生た。年君加で物
し。いこにさ成、にた味洗教し八値果行をり、バ後し。がたも生こ。(へしきも
とてとれ洗川分。深剤授まとが。い混、ケ。とみく面物と。竹たま見

竹野川を調査しました

推にののでの
進京河二共ぎ竹
課都口十事川野
に精か五業では
お華ら、へとも
世大丹しあ丹
話学大丹しあ丹
にの宮後てり後
なり板町町→ま
倉五か竹す。最
ま豊十ら野。大
し教河は川八の
授、源(七名)探
た。域の「一、市
京の参加取り、内
都全加が組丹で
府域ありみ後と
丹で行いまま、弥
後保ました。栄の
健所。た。調参の
京当査加者地
丹日。は竹野公
市竹講野全
環講野全
境師川体



五十河での調査風景(上右)河口での参加者と板倉教授(中央) (上左)



《用語解説》

- ①亜硝酸性窒素…アンモニアの酸化によって大部分が作られる。水道法の基準は10mg/ℓ以下。
- ②pH…中性は7、竹野川の環境基準では6.5から8.5が望ましいとされる。
- ③COD…数値が高いほど有機物が多く、汚れの程度も大きいとされる。

▲(下左) 弥栄水辺公園で (下中) カスミサンショウウオ? (下右) ヘビトンボ
〈表1 竹野川の水質及び水生生物調査結果〉 ※調査地周辺ではカスミサンショウウオの生息は同定(認知)されていませんので留意下さい。

	時刻	気温(℃)	水温(℃)	亜硝酸性窒素	pH	COD	見た目	見つけた生き物
三宅橋	9:30	34	27.1	0.02以下	7	13	少しきたない	カワセミ、コイ、コサギ、ミヤマクワガタ、オイカワ、ハクセキレイ 他
弥栄水辺公園	10:00	34	26	0.02以下	7	8以上	(三宅橋より) 少しきれい	ホトケドジョウ、コガタシマトビケラ、サホコカゲロウ、フタバカゲロウ、シマイシビル 他
大宮橋	11:30	37	27	0.02以下	7.5	7.5	きたない	アメンボ、コイ、カワサギ、オイカワ
大宮中学校付近排水路	11:35	35	28	0.02以下	8	8以上	きたない	
五十河	13:00	28	22	0.02以下	7	4	とてもきれい	カスミサンショウウオ、サワガニ、キタカワトビケラ、ヘビトンボ、ツツトビケラ 他

星空がきれいな夜でした～「キャンプ」

野外体験活動として、8月9日から1泊2日の日程で、好天に恵まれ「キャンプ」を鞍内キャンプ場で実施しました。参加者は、丹後町域の小学3年から6年生の19名でした。

初日は、オリエンテーションの後、食料品の買出し、テントの設営、竹細工による食器の製作、食事作りに取り組みました。食料品の買出しでは決められた金額の中で、自分たちで考えた2食分のおかずについて、必要な食材を購入する体験をしました。なかにはデザートまでしっかり購入する、買い物上手な班も見られました。また食事作りでは、牛丼、スキャキ風煮、中華スープ作りなどに取り組みました。お米は飯ごうで炊くだけでなく、空き缶2個と使用済みの割り箸を利用して炊いてみました。これは1個の空き缶（アルミニウム缶）で炉を作り、その上に0.5合のお米と適量のお水を入れ、アルミホイルで蓋をした他方の空き缶をのせ、下から使用済みの割り箸を焚き木としてご飯を炊く方法です。やや柔らかめでしたが、ご飯が無事炊き上がりました。

2日目はラジオ体操、食事づくり、遠下地区までの約2キロのウォーキングの後、鮎漁体験、川遊びを行いました。鮎漁体験は市主催の「リーダーキャンプ」と同様に取り組みました。実施場所はやや上流にあたる依遅ヶ尾橋付近で行いました。鮎が入るか不安でしたが、参加者の中には数匹の魚を捕まえる人もいました。川遊び終了後はテントを片付け、キャンプ場の清掃の後、それぞれ帰途に着きました。

参加者の荻智子さん（宇川小6年）は、「キャンプでは、ご飯を炊くことが難しかったです。缶を切るのも少し失敗しましたが、おいしく炊け

ました。川遊びでも、鮎はとらなかったけど、水切りができるようになりました。楽しかったです。」と感想を寄せていました。

▼ 鞍内キャンプ場にて



▼ 空き缶を使った炊飯



▼ 巻網で獲れた魚



▼ 竹工作で食器づくり



夏休みの工作はこれで決まり!?!～親子陶芸教室

夏休み最初の土曜日となる7月21日に、「親子でドキドキ土器づくり!?!～親子陶芸教室」を実施しました。場所は京丹後市丹後古代の里資料館の大室屋で行いました。参加は子ども8人、大人5人の計13人でした。

▼ 陶芸に取り組む様子（古代の里大室屋）



参加した人は、思い思いの器づくりに取り組みました。また、ユニークな家族の埴輪（はにわ）を作る人もいました。作品は8月17日に出来上がり、それぞれの手に届けることができました。

▼ 出来上がった作品（一部）

